

微量 PCB 焼却実証試験の経緯 (1/4)



2006 年から行われている微量 PCB 焼却実証試験について、過去の記事をもとにまとめてみました。2011 年 4 月現在、15 の施設で計 28 回の焼却実証試験が行われ、今後も増えることが予想されます。

環境省報道発表		微量PCB焼却実証試験の経緯(環境省)①
年	月 日	
2002	背景	<p>PCBを使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量のPCBが混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明。</p> <p>↓</p> <p>環境省はそれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等で、微量PCB汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認するための焼却実証試験を開始。</p> <p>↓</p>
2006	3.9	<p>実証試験の実施を発表(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光和精鉱株式会社戸畑製造所^{※1※2}(福岡県北九州市) ・株式会社カムテックス福山工場(広島県福山市) ・財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所^{※1※2}(愛媛県新居浜市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油
2007	1.29	<p>実証試験の実施を発表.....2007年2月号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社クレハ環境^{※1※2}(福島県いわき市) ・エコシステム秋田株式会社^{※1※2}(秋田県大館市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油 ・株式会社カムテックス福山工場(広島県福山市) ・光和精鉱株式会社戸畑製造所^{※1※2}(福岡県北九州市) ・財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所^{※1※2}(愛媛県新居浜市) →処理廃棄物:数十mg/kg程度のPCBを含む紙くず・木くず
	8.27	<p>実証試験の実施を発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋セメント株式会社小野田工場(山口県山陽小野田市) ・財団法人かながわ廃棄物処理事業団かながわグリーンセンター(神奈川県川崎市) ・エコシステム小坂株式会社(秋田県鹿角郡小坂町) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油

ISO/IEC 17025(JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました！

当社では、2007 年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格 ISO/IEC 17025 において、この度の拡大申請が承認され、RoHS 指令の全6物質と ELV 指令の全4物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。



微量 PCB 焼却実証試験の経緯 (2/4)



環境省報道発表		微量PCB焼却実証試験の経緯(環境省)②
年	月日	
2008	3.18	実証試験の実施を発表 ・財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所 ^{※1※2} (愛媛県新居浜市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油が封入されているコンデンサ
	11.10	実証試験の実施を発表.....2008年12月号 ・エコシステム秋田株式会社 ^{※1} (秋田県大館市) →処理廃棄物:数十 ppm 程度のPCBを含む絶縁油を使用していた変圧器及びOFケーブルで既に絶縁油が抜かれているもの ・光和精鉱株式会社戸畑製造所 ^{※1※2} (福岡県北九州市) →処理廃棄物:数十 ppm 程度のPCBを含む絶縁油を使用していた変圧器及び同様の絶縁油を保管していたドラム缶
2009	3.10	実証試験の実施を発表.....2009年4月号 ・株式会社カムテックス(広島県福山市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油
	3.17	実証試験の実施を発表 ・三光株式会社(鳥取県境港市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油
	11.10	実証試験の実施を発表.....2009年12月号 ・株式会社ミダックふじの宮(静岡県富士宮市) ・株式会社カツタ(茨城県ひたちなか市) ・株式会社富山環境整備(富山県富山市) →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む絶縁油
	12.17	実証試験の実施を発表.....2010年1月号 ・株式会社クレハ環境 ^{※1※2} (福島県いわき市) 12月23日~12月25日 →処理廃棄物:数十ppm程度のPCBを含む廃棄物(廃活性炭、化学防護服など)

ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました!

当社では、2007 年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格 ISO/IEC 17025 において、この度の拡大申請が承認され、RoHS 指令の全6物質と ELV 指令の全4物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。



微量 PCB 焼却実証試験の経緯 (3/4)



環境省報道発表		微量PCB焼却実証試験の経緯(環境省)③
年	月日	
2010	1.7	実証試験の実施を発表.....2010年2月号 ・光和精鉱株式会社戸畑製造所 ^{※1※2} (福岡県北九州市) →処理廃棄物:微量のPCBを含む汚染廃電機器等(コンデンサ)、 微量PCBを含む廃棄物(廃活性炭、化学防護服、ウエス、汚泥など)
	3.2	実証試験の実施を発表.....2010年4月号 ・エコシステム秋田株式会社 ^{※1} (秋田県大館市) →処理廃棄物:数十ppm程度微量のPCBを含む変圧器 及び絶縁油、絶縁油を抜いたOFケーブル ・神戸環境クワイエット株式会社(兵庫県神戸市) →処理廃棄物:微量PCB廃電気機器等、微量のPCBを含む廃棄物(汚泥)
	11.22	実証試験の実施を発表.....2010年12月号 ・杉田建材株式会社(千葉県市原市) →処理廃棄物:微量のPCBに汚染された絶縁油
	12.14	実証試験の実施を発表.....2011年1月号 ・神戸環境クワイエット株式会社(兵庫県神戸市) →処理廃棄物:微量PCBを含む廃棄物(廃活性炭、化学防護服等)
	2011	1.18

ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました!

当社では、2007 年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格 ISO/IEC 17025 において、この度の拡大申請が承認され、RoHS 指令の全6物質と ELV 指令の全4物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。



微量 PCB 焼却実証試験の経緯 (4/4)



年	月日	微量PCB焼却実証試験の経緯(その他)
2003	背景	東京電力が、自社で保有する柱上変圧器に含まれている微量PCB汚染絶縁油について、自社処理を開始したが、大型変圧器等に含まれる微量PCB汚染絶縁油については処理方法が確定していなかった。
		↓
2009	11.10	廃棄物処理法施行規則の改正により「微量PCB汚染廃電気機器等の無害化処理認定制度」が規定される。
		↓
2010	4.30	東京電力のグループ会社である東京臨海リサイクルパワー ^{※1} (東京都江東区)がPCBの燃焼条件を満たしていることから、焼却実証試験を実施。 →処理廃棄物:微量のPCBに汚染された絶縁油

* 上記の内容は、過去のニュースコンテナーで発信された情報の一部です。

上記経緯から、現在までに複数の施設において複数回の試験が行われていることがわかります。また、その内、5つの施設(※1)が微量PCBの無害化処理認定の申請を行い、3つの施設(※2)が認定を受けており、微量PCBの処理体制の整備に向けた動きがさらに活発になることが予想されます。

当社では微量PCB焼却実証試験について、今後も動向を追っていきますので、当社発行のニュースコンテナーを情報収集の1つの手段として是非ご活用下さい。

微量PCB焼却実証試験をはじめとしたPCB関連情報も分かりやすく、そして素早くお伝えします。

ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました!

当社では、2007年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格ISO/IEC 17025において、この度の拡大申請が承認され、RoHS指令の全6物質とELV指令の全4物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。

